



▲自分より背丈の高い茶の木から若葉を摘み取ろうとする児童。

高泊小茶摘み

5月9日、高泊小学校の茶畑で「茶摘み」が行われました。6年男子は緑色の法被^{ほっぴ}、女子はかすりの着物姿で参加。今年入学した1年生も、上級生に教えてもらいながら、一生懸命茶葉を摘んでは袋や背負いかごに入れていきました。重岡佑香さん(3年)は、「手にお茶の香りが移っていいにおいがするよ」と、新芽を手をうれしそうに話してくれました。



▲出店の並ぶ通りで、まつりを楽しむ人たち。

有帆市まつり

5月8日、有帆公民館周辺で「有帆市まつり」が行われました。これは、江戸時代から続く伝統のまつりで、農機具市がはじまりと言われています。昔ながらの野菜苗や竹製品などを売る店がある中、地域の団体や地元店の出店などもあり、たくさんの人でぎわいました。



▲飛び入り参加も大歓迎の「よさこい」総踊り。



▲子どもたちに囲まれて写真を撮られる「寝んね子さん」。

寝太郎まつり

初夏を思わせるような陽気に恵まれた4月29日、厚狭駅前商店街で山陽地区恒例の「寝太郎まつり」が行われました。バナナのたたき売りやジャンケン大会、餅つき体験などのほか、キャラクター「寝太郎君」とそのお嫁さん「寝んね子さん」の登場や、寝太郎太鼓保存会による勇壮な演技の披露など、盛

りだくさんの催しがまつりを盛り上げました。

午後には、県内から集まった「よさこい」チームが通りへ繰り出し、テンポのよい音楽に乗って「よさこい踊り」を披露。いきいきと元気よく踊るその姿に、道行く人は足を止め、活気あふれる踊りを楽しみました。